

指宿市民会館整備 基本構想・基本計画改訂版

平成30年2月
指宿市

(1) 基本構想

1 基本構想策定の目的	1
2 市民会館の現状と課題	2
2-1 施設の概要と課題	
2-2 利用状況の現状と課題	
2-3 市内類似施設の現状と課題	
2-4 指宿市における芸術文化活動の現状と施策の展望	
3 文化施設の近年の傾向と類似事例の調査	8
3-1 近年の文化施設の傾向	
3-2 先進地の事例	
3-3 類似施設の調査	
4 コンセプトの設定	14
5 施設の役割・機能・規模の整理	15
5-1 必要機能の検討	
5-2 施設概要の検討	
5-3 ホール機能と規模	
5-4 管理・共用機能	
5-5 施設の規模	
6 施設整備の手法	18
6-1 改修・建替えの方向性検討	
6-2 整備箇所の検討	
7 基本構想のまとめ	21

(2) 基本計画

1 建設予定地の概要	22
2 施設整備方針の検討	24
3 施設機能や規模の検討	25
4 施設整備計画の検討	27
4-1 基本性能の整理	
4-2 ゾーニング・配置計画	
4-3 平面計画	
4-4 設備計画	
5 事業スケジュールの検討	32
6 概算事業費の検討	33
7 管理運営計画の概要	34
7-1 管理・運営組織の考え方	
7-2 管理運営計画の考え方	

(3) 参考資料	36
-----------------	----

(1) 基本構想

1 基本構想策定の目的

本市の市民会館は、昭和44年4月に完成し、市民の文化の向上を図るため、文化の拠点として、また、福祉の増進に資することを目的として運営され、ホールや会議室等を有する施設として、開館後40年以上にわたって、鑑賞や交流など市民の身近な芸術文化活動の場として機能し親しまれてきました。

しかし、近年では施設・設備が老朽化し、空調、音響、照明、電気設備、給排水等のトラブルが頻発しているほか、多くのホールが備えているような舞台設備等はなく、公演者が求める多様で高度な施設機能に対し応えることが困難な状況です。

また、バリアフリーやトイレの設備など利用者の利便性や快適性においても課題があります。

このような状況を踏まえ、市では平成25年度に市民会館の今後の整備の方向性として、「大規模改修」又は「建替え」の方針を決定しました。

本構想では、市民会館運営協議会を開催し、市民会館利用者アンケートの結果や市民会館の現状や課題等を総合的に調査・検討を行い、整備方針や建替候補地、新たな市民会館に求められる機能について委員の意見を集約するとともに、時代のニーズに合った地域に根ざした芸術文化の拠点となる市民会館となるよう、基本的な考え方を整理しました。

2 市民会館の現状と課題

2-1 施設の概要と課題

(1) 建築概要

所在地	指宿市東方 12000 番地
敷地面積	14,294 m ²
建築面積	2,287 m ²
延床面積	3,020 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
階数	大ホール棟 3階、管理棟 2階
竣工	昭和 44 年 2 月 18 日
開館	昭和 44 年 4 月 1 日

(2) 施設概要

大ホール	固定席 1,120 席、立見席 180 席 舞台寸法：間口 17m、奥行 10m、170 m ² 脇舞台：上手 45 m ² 、下手 35 m ² 楽屋 3 室：(計) 55 m ²
1 階	小会議室 定員 24 人 40 m ² 中会議室 定員 60 人 78 m ² 市民サロン 78 m ²
2 階	中会議室 定員 48 人 78 m ² 大会議室 定員 120 人 112 m ² 第 1 控室 定員 5 人 20 m ² 第 2 控室 定員 5 人 25 m ²

(3) 課題

- 施設の各部分で老朽化が進行しており、空調設備や舞台機構のメンテナンス、防水の修繕が必要となっている。
- 現在求められる舞台機能に対応した舞台関連設備が整っていない。
- 高齢者、障害者に配慮したバリアフリー対応が十分でない。
- 音楽等の日常的な練習に適した部屋がない。
- 座席の大きさが十分でなく、ゆとりがない。
- 設備機器が古く、環境負荷やランニングコスト^{*1}が高い。



全景



大ホール全景（後方から）



大ホール全景（舞台から）



座席



バリアフリー対応の後付けスロープ



舞台下手、舞台機構設備



トイレ

2-2 利用状況の現状と課題

(1) 市民会館の利用状況

① 専用使用

年度	件数	1,000人以上	500~900人	500人未満
H26	44件	8件	13件	23件
H25	48件	7件	19件	22件

② 興行利用実績 [①の内数]

年度	件数	1,000人以上	500~900人	500人未満
H26	9件	4件	3件	2件
H25	9件	3件	4件	2件

(2) 平成 26 年度の市民会館の稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	使用 日数計
ホー ル	6	2	1	2	4	5	1	8	5	4	1	5	44
舞 台	18	11	5	7	15	3	11	18	12	6	15	8	129
ホ ワ イ エ	0	2	0	0	0	0	4	0	3	3	0	1	13
ホー ル内	23	14	6	9	19	8	15	24	16	12	16	13	175
大会 議室	7	8	9	12	14	5	12	12	2	14	8	3	106
中会議室2号	6	4	2	6	6	5	10	5	0	11	3	7	65
中会議室1号	12	12	8	19	12	9	14	15	5	19	13	16	154
小 会 議室	14	15	13	18	16	17	19	16	13	19	19	22	201
第 1 和 室	6	2	2	3	2	3	0	8	3	8	3	0	40
第 2 和 室	1	2	2	2	0	3	0	4	0	2	1	0	17

※ホール利用後→舞台利用のように使用される日もあります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
開 館 日 数	29	29	27	30	30	28	28	30	27	28	27	31	344
閉 館 日 数	1	2	3	1	1	2	3	0	4	3	1	0	21

(3) 課題

平成 25 年度～26 年度の利用状況では、全体のおよそ 8 割は市民が芸術文化活動を発表する専用使用であり、その内およそ 5 割は 500 席以下の利用である。現市民会館の客席規模は固定席で 1,120 席であるため、現在の市民の利用状況に応じた、より効果的で使いやすい客席規模や客席配置を検討する必要がある。

(参考資料 P37 利用別一覧による)

2-3 市内類似施設の現状と課題

(1) 山川文化ホール

① 建築概要

所在地	指宿市山川新生町 35 番地
敷地面積	6,421 m ²
建築面積	2,603 m ²
延床面積	3,317 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
階数	3階
竣工	昭和 54 年 8 月
指定管理者	一般財団法人 指宿温泉まちづくり公社

② 施設構成

大ホール、舞台 [間口 12m・奥行 9m・高さ 5.5m]、楽屋
婦人研修室、高齢者研修室
第 1 会議室、第 2 会議室、第 3 会議室、第 4 会議室、第 5 会議室、第 6 会議室
視聴覚室、生活実習室

③ 課題

- 山川地域文化祭や各種研修会等で使用されている。
- ホール後方に固定席 202 席を有しているが、前列部は 300 席程度のパイプ椅子を配置する必要があります。
- 経年により音響や舞台照明等の改修に多額の費用が見込まれる。
- ホール左右の壁がサッシであるため、音響・防音効果が良くない。
- ホールとしての設備、特に照明設備が不十分である。
- 音響反射板が設置されておらず、演奏会等に不向きである。



大ホール全景

(2) 開聞総合体育館

① 建築概要

所在地	指宿市開聞十町 2613 番地
敷地面積	24,533 m ²
建築面積	4,682 m ²
延床面積	5,321 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
階数	2階
竣工	平成10年9月
指定管理者	特定非営利活動法人 いぶすきスポーツクラブ

② 施設構成

メインアリーナ

バレーボールコート3面

バスケットボールコート2面

サブアリーナ (バレーボール1面、文化施設として兼用, 694 m²)

舞台 [間口12m・奥行9m・高さ6m]

座席は舞台下及び後方から572席の可動式

親子室

第1会議室、第2会議室、第3会議室

③ 課題

- 開聞総合体育館サブアリーナを文化施設として兼用しており、開聞地域文化祭、開聞郷土芸能祭や各種研修会等で使用している。
- 可動式座席が経年により故障が多くなり、早急の対応が難しい。
- 舞台や舞台袖が狭く、入れ替えに時間を要する。
- 音響反射板が設置されておらず、演奏会等に不向きである。
- 本格的なホールとしての設備が十分でない。



サブアリーナ全景



サブアリーナ全景 (可動席)

2-4 指宿市における芸術文化活動の現状と施策の展望

(1) 芸術文化活動の現状

本市の芸術文化活動は、指宿市文化協会と連携しながらその振興を図る必要がありますが、急速に進む高齢化によって、今後、文化祭などを運営する人材が不足してくることが予想されます。また、市民会館などの文化施設は、施設の更なる活用の促進や老朽化への対策として整備を図っていく必要があります。

(2) 施策の展望

芸術文化活動の活性化は、地域コミュニティの活性化と、楽しみながら人生を送るための環境づくりに寄与します。市民がこのような環境を享受するために、多くの人々の力を結集できるような体制づくりを図るとともに、人材発掘とその育成を図ります。また、文化施設を芸術文化活動の拠点とするために、市民がいつでも快適に活用できる環境づくりを図ります。

(3) 指宿市における主な芸術文化活動

【指宿市文化祭】

指宿・山川・開聞各地域に於いて、毎年11月の土日に開催し、短歌や絵画等の展示、日本舞踊や和楽器演奏、フラダンスなどを披露しています。

【開聞郷土芸能祭】

開聞地区の郷土芸能を中心に、市内に継承された郷土芸能を発表する機会として、毎年9月に開催しています。

【シルバー美術展】

60歳以上の方々の作品を広く県内から公募し、生きる証としての創作活動の一層の充実と芸術文化の振興を図る美術展です。

【いぶすき子ども映画祭】

小学生から高校生までの子どもたちが制作した3分間の映画をコンテストする大会です。本映画祭はアジア国際子ども映画祭の九州ブロック大会を兼ねて開催しています。

【市民講座】

市民が「いつでも・どこでも・だれでも」学べる環境づくりやその成果を地域社会で活かせる取り組みを推進し、生涯学習の社会の実現のため、市民の学習ニーズに応え、様々な地域課題や現代的課題を解決する場として、ヨガやパソコン、歴史教室、料理教室など様々な講座を開講しています。

【音楽発表会等】

市内小・中各学校、指宿商業高校のクラス代表等が、合唱・合奏等による学習の成果を互いに発表し鑑賞する機会として11月に開催しています。また、社会人を中心とした定期演奏会が開催されています。

3 文化施設の近年の傾向と類似事例の調査

3-1 近年の文化施設の傾向

施設を計画する上で、近年の文化施設の傾向として、以下のようなものがあります。

(1) 芸術文化全般に関する最新の動向

【集客から創客へ】

舞台芸術の鑑賞人口は減少傾向にあるため、新たな観客を創り出す「創客」という長期的な戦略が求められています。

【鑑賞から創造へ】

劇場は「舞台芸術を上演するための場」から「芸術文化創造の場」に変化し、様々な芸術文化活動を行うための創造活動の場が付加され、その活動を支援できる舞台芸術の専門家が登用されています。

【舞台芸術領域の拡大】

従来からの音楽、演劇などの舞台芸術のジャンルに加え、美術、映像など様々な周辺領域とのコラボレーションが行われ、舞台芸術の領域が拡大し、劇場の空間に求められる機能や性能も多様化しています。

(2) 公共文化政策に関する最新の動向

【文化芸術立国を目指して】

○国は文化芸術立国を目指し、平成 25 年 5 月 25 日には中期プランとして世界トップクラスの文化大国に向けたロードマップが公表されています。

○2020 年を第一次中期目標が達成される年と位置付け、2014 年から芸術文化の計画的強化の流れが示されています。

【法的な整備】

○文化芸術振興基本法（平成 13 年 12 月 7 日公布）

○文化芸術の振興に関する基本的な方針（第 4 次基本方針 平成 27 年 5 月 22 日閣議決定）

○劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成 24 年 6 月 27 日公布）

○劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針（平成 25 年 3 月 29 日告示）

【具体的な施策】

○劇場・音楽堂等活性化事業

○文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

3-2 先進地の事例

新市民会館の構成や運営を考えるにあたって、国内の先進事例として具体的なホールの構成と運営方法を紹介します。

◆事例1：黒部市国際文化センター・コラーレ（富山県黒部市、人口：41,872人）

竣工年	平成7年
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート・鉄骨造 地上4階 地下1階
延べ面積	8,886 m ²
ホール規模	大ホール（886席） 小ホール（208席）

- (1)利用者が日常的に利用できるよう、暖炉のある学習ゾーンや図書室等のスペースの充実化を図っている。
- (2)市民主体の文化クラブが積極的にプログラム運営等に関わり、施設運営を行っている。
- (3)毎年、24時間ライブや全館を使つてのフェスティバル等、独自のイベントが積極的に行われている。

◆事例2：北上市文化交流センター・さくらホール（岩手県北上市、人口：93,619人）

竣工年	平成15年
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート・鉄骨造 地上3階 地下1階
延べ面積	15,093 m ²
ホール規模	大ホール（1,406席） 中ホール（461席） 小ホール（264席）

- (1)大中小のホールと豊富な練習室（21室）が配置されている。
- (2)練習室の間にも利用者が日常的に利用できるスペースが配置されている。
- (3)FM放送局のサテライトスタジオが設置されており、公演の案内や市民の芸術文化活動を発信できる場が用意されている。

◆事例3：茅野市民館（長野県茅野市、人口：55,450人）

竣工年	平成17年
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート・鉄骨造 地上3階 地下1階
延べ面積	10,806 m ²
ホール規模	大ホール（780席） 小ホール（300席）

- (1)大ホールを客席可変型の多目的ホールとしている。
- (2)大ホールの壁が可動式となっており、壁を開放すれば隣接する中庭と一体的な使用が可能となる。
- (3)近接する駅の待合室を兼ねた図書室や、八ヶ岳が一望できるイベントスペース等、周辺環境とのつながりを活かした施設づくりが行われている。
- (4)市民と設計者が協働で設計案の検討を行い、管理運営計画においても市民と専門家との協働で検討が行われた。

3-3 類似施設の調査

指宿市と人口規模の近い自治体において、近年開館した市民会館の事例を調査しています。

◆調査表 1

施設名	三次市民ホール きりり		
建設地	広島県三次市三次町 1-111		
人口	54,531人 (平成28年3月1日現在)		
竣工年	平成26年		
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地上5階		
敷地面積	14,805 m ²		
延べ面積	10,892 m ²		
	名称	定員：人	面積：m ²
室名	大ホール	1,006	
	小ホール	150	
	音楽練習室 1	30	35
	音楽練習室 2	36	35
	音楽練習室 3		30
	音楽練習室 4	12	35
	音楽練習室 5	24	20
	音楽練習室 6	18	17
	音楽練習室 7	12	17
	音楽練習室 8	9	16
	楽屋 1		30
	楽屋 2	7	14
	楽屋 3	7	12
	楽屋 4	20	22
	楽屋 5	30	35
	管理運営事務所		215
	楽屋事務所		30
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホールは日常的な利用に適したホールとするため1階席を604席で計画 ・施設全体に回廊を配置し、市民が使い易い空間を計画 ・1階にピロティ上の駐車場を計画 ・小ホールとリハーサル室を兼用 ・楽屋は日常時、会議室や談話室として利用できるよう計画 		

◆調査表 2

施設名	下呂交流館		
建設地	岐阜県下呂市森 2270-3		
人口	34,279人 (平成28年3月1日現在)		
竣工年	平成21年		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地上4階		
敷地面積	19,831 m ²		
延べ面積	10,574 m ²		
	名称	定員：人	面積：m ²
室名	大ホール	805	
	大楽屋1	16	28
	大楽屋2	16	32
	中楽屋	12	22
	小楽屋1	2	9
	小楽屋2	2	10
	スタッフ控室		5
	楽屋事務室		10
	会議室		10
	マルチスタジオ		165
	工作室		48
	和室		27
	多目的室A		44
	多目的室B		32
	メディアラボ		35
音楽練習室		15	
サービスセンター		80	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンベンションアリーナ、カフェを併設 ・ 多様な創造活動室を配置 ・ 楽屋を正面に配置し、日常的な市民の創造活動の場を演出 		

◆調査表 3

施設名	茅野市民館		
建設地	長野県茅野市仲町 1-22		
人口	55,856 人 (平成 28 年 3 月 1 日現在)		
竣工年	平成 17 年		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地上 3 階 地下 1 階		
敷地面積	15,533 m ²		
延べ面積	10,806 m ²		
	名称	定員：人	面積：m ²
室名	大ホール	780	
	小ホール	300	
	イベントスペース		110
	音楽練習室 1		25
	音楽練習室 2		25
	大楽屋 1		40
	大楽屋 2		40
	大楽屋 3		31
	大楽屋 4		31
	小楽屋 1		14
	小楽屋 2		14
	小楽屋 3		14
	小楽屋 4		14
	アトリエ		200
事務室		140	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・小ホールはクラシック専門ホール ・美術館、図書館、レストランを併設 ・イベントスペース屋上を八ヶ岳が望める展望スペースとして利用 ・アトリエはリハーサルや小規模な発表会に利用 ・大楽屋は可動間仕切りで 1 室利用も可 ・大・小楽屋 1・2 は大ホール用、3・4 は小ホール用 ・2 階席の 3 方にスクリーンを降ろすことで、コンパクトな客席づくりが可能 		

4 コンセプトの設定

市では、文化を創造し享受する主体は市民であるとの認識のもと、これまで芸術文化の振興に取り組んできました。

基本構想を策定するにあたり、以下3つを施設のコンセプト（基本理念）としました。これらの3つのコンセプトは、ハード面とソフト面の両面を踏まえた新市民会館のあり方を示したものです。指宿市の芸術文化活動の拠点として、より多くの市民に利用され、心豊かな市民生活を実現するとともに、地域に根ざした芸術文化の拠点づくりを行い、芸術文化に触れる機会を拡充します。

コンセプト1：ひとと芸術文化・健幸※を結ぶ交流空間（集客から創客へ）

世代を超えた人々が、健康で生きがいを持ち、様々なかたちで芸術文化とつながることにより、まち全体へ芸術文化活動が広がり、地域活力の向上に資する市民会館とします。

コンセプト2：芸術文化活動をはぐくむ創造の空間（鑑賞から創造へ）

市民が意欲的に芸術文化活動を行う場所や機会を提供し、指宿市の新たな芸術文化の創造に資する市民会館とします。

コンセプト3：芸術文化・健幸を発信する拠点（鑑賞から発信へ）

文化交流を通して、地域活力の向上に資する市民会館を、芸術文化活動を通して指宿市がもつ魅力を全国に発信する拠点とします。

※健幸：個々人が健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことができること。

5 施設の役割・機能・規模の整理

5-1 必要機能の検討

新市民会館は、コンセプト（基本理念）に基づき、以下の機能をもった施設とします。

(1)ホール機能

- 文化芸術を鑑賞する機能
- 市民の文化創造活動の実践の場
- 音楽や舞台芸術など様々な文化芸術の公演に対応できる多目的ホール

(2)創作支援機能

- 様々な創作活動の拠点
- 市民の創作活動、作品の発表の場

(3)交流機能

- 市民が日常的に気軽に立ち寄り、自由に時間を過ごせるまちのリビングとなるような環境として整備
- 来訪者や地域との連携により交流、賑わいを創出

(4)管理運営機能

- 新市民会館を円滑にかつ安全に運営していくための機能
- 来館者にわかりやすく、各諸室にもアクセスしやすい配置

(5)その他の機能

- 災害時の防災拠点施設としての必要な設備を整備
- ユニバーサルデザイン^{※2}を積極的に取り入れ、利用者にとって分かりやすく使いやすい施設

設

5-2 施設概要の検討

必要機能に基づき構成した施設概要を以下に示します。

(1)ホール機能

⇒ホール・楽屋・ホワイエ^{※3}・搬入口

(2)創作支援機能

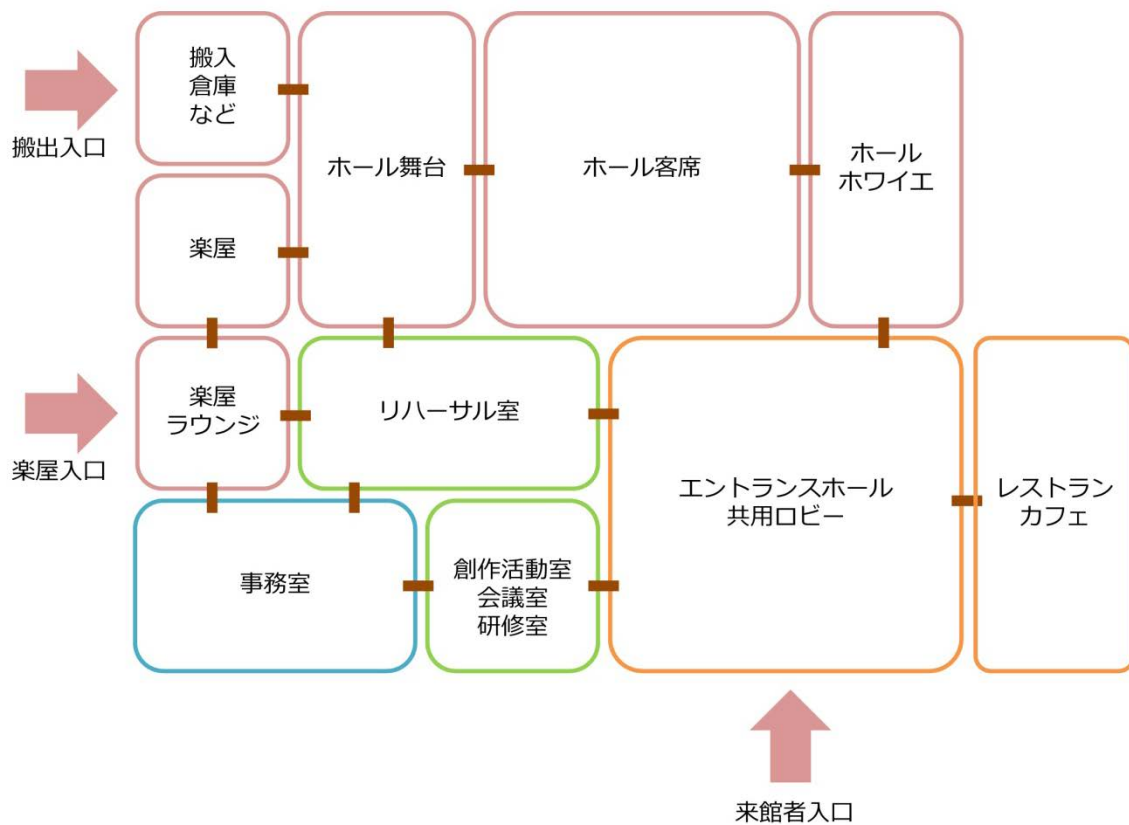
⇒リハーサル室・創作活動室

(3)交流機能

⇒共用ロビー・市民活動ラウンジ・レストラン・カフェ

(4)管理運営機能

⇒事務室



施設構成概念図



5-3 ホール機能と規模

(1) 舞台と客席の関係

- ホールの舞台と客席の関係は演目・目的により様々な構成があります。
- 新市民会館では、市民による様々な活動、多目的な演目に対応しやすく、一般的に広く普及しているプロセニウム^{※4}形式を基本と考えます。

(2) 舞台

- プロセニウム^{※4}形式を基本とします。
- 様々な演目に対応可能な舞台装置を計画します。

(3) 客席

- 観やすいホールとして、客席からの最大視距離を極力短く、座席配置を考慮します。
- 聴きやすいホールとして、残響時間などを考慮します。
- ゆとりのある座席計画とします。
- 車椅子席、親子室の設置を計画します。

(4) その他付属施設

- ホワイエ^{※3}、楽屋、搬出入口、倉庫、ピアノ庫、調整室、投光室、舞台設備機械室、設備機械室、主催者事務室などを計画します。
- リハーサル室

◆中ホール（1,000席未満）と大ホール（1,000席以上）の特徴比較と規模設定

	中ホール（1,000席未満）	大ホール（1,000席以上）
メリット	事業費・維持費の抑制が可能	大規模イベントの開催が可能
	稼働率を高めやすい	演出の工夫により群集心理を利用した盛り上がり・一体感が創出できる
	演劇やミュージカル、オペラに最も適した規模（生身の演出が届く範囲）	
	客席から舞台への視認性や、一体感の創出で有利な場合が多い	
	客席の分割方法により、小規模な催しにも適した使い方が可能	
デメリット	大規模イベントの開催は困難（観客動員による採算性）	事業費・維持費が大きくなる
		稼働率が低くなりやすい
		一般的な催しには使いにくいいため小ホール併設検討が必要
		使用料が高くなる傾向にある。（アマチュア利用者への負担）
		大規模イベント開催の実現性検討必要（人口減少・鹿児島市内ホールとの競合）

→市民の芸術創造拠点として使いやすい施設
→高い経営能力で積極的に大規模な興行を行う、鑑賞を主体とした施設

■まとめ

現市民会館の利用状況は、大規模な集客を目的とした興行を主体とするものでないことや、ホールの客席をゆとりのある座席の大きさに改修した場合 870 席程度になること、さらに、これからの人口減少等を考慮し、市民会館運営協議会の意見も踏まえ、客席規模を 800~900 席の中ホールとして計画します。

5-4 管理・共用機能

(1)創作支援機能

音楽練習、美術工芸活動、視聴覚室、音楽室、研修室、ギャラリー、小ホール的な機能

(2)交流機能

①エントランスロビー

- 共用ロビーとして、市民に開かれた場所とします。
- 指宿市の観光情報の提供場所としても機能するスペースとします。
- 展示スペースや情報コーナーなどを併設します。

②広場

イベントなどに活用可能なスペースとして計画します。

③カフェ・レストラン

賑わいづくりとして必要な機能ですが、採算性など検討が必要です。

(3)管理運営機能

管理事務室、更衣室、会議室、応接室、倉庫など

5-5 施設の規模

施設概要の検討に基づき、現市民会館の客席を改修した場合 870 席程度になることから、客席規模は 800～900 席として想定し、各機能の具体的な内容や規模については基本設計・実施設計策定時に検討を進めていきます。

6 施設整備の手法

6-1 改修・建替えの方向性検討

今回の市民会館整備にあたり、整備手法には「大規模改修」と「建替え」があり、各々の手法について以下のような比較・検討を行いました。

種別	大規模改修	建替え
		現市民会館の内装や設備機器などを撤去して、新たに内装、設備機器などを新設する。
イニシャルコスト※ ⁵	<p>■全面的な改修の場合：9～12億円 (内装、設備を全面撤去の上、新設 延べ面積3,000㎡、30～40万円/㎡と想定)</p> <p>■部分的な改修の場合：4.5億円程度 主な改修項目 舞台照明・音響設備改修 トイレ改修、外装建具改修 大ホール客席椅子全数取替え 耐震対策、管理棟空調改修 非常用発電機改修、屋上等防水改修</p>	<p>■800～900席の場合：30～36億円 (延べ面積：6,000㎡、50～60万円/㎡と想定)</p> <p>※近年整備された類似規模のホールを有する文化施設の事例では、建設費は1㎡あたり50～60万円程度となっている。</p> <p>※既設建物解体費1.0億円必要</p> <p>※各種備品費、外構整備費、用地取得費を除く。</p>
ランニングコスト※ ¹	<p>■光熱水費 全面改修の場合は、建替と省エネルギー・長寿命化に配慮した設計を行うことができる。 部分改修の場合、一部改修により、最新省エネルギー機器となるが、現状とほぼ変わらない。</p> <p>■修繕費 修繕費として、平成8～27年の20年間の実績として、約2.5億円(年平均1,250万円)を支出</p> <p>大規模改修を行うことで、現在の維持管理費を削減することはできるが、築40年以上経過しているため、今後も建物修繕にかかる大きな費用が見込まれる。</p>	<p>■光熱水費 省エネルギー・長寿命化に配慮した設計を行うことで、現状に比較して20～30%程度削減できる。 (同規模と想定した場合)</p> <p>■修繕費 当初15～20年程度の大規模な修繕費用は抑えられる。</p>
用地取得コスト	不要	候補地①②の場合：不要 候補地③の場合：約3.5億円
工期	10～12ヶ月(改修内容による)	候補地①の場合：解体5ヶ月、新築18～20ヶ月、合計23～25ヶ月 候補地②③の場合：新築18～20ヶ月
市民会館利用不可期間	10～12ヶ月(改修内容による)	候補地①の場合：23～25ヶ月 候補地②③の場合：継続利用可
機能性	改修により多少の間仕切り変更は可能であるが、構造躯体はそのままのため、室構成の大幅な変更はできない。 座席幅、通路幅を広げて全面入れ替えした場合、現状の1120席から870席程度に減少する。 設備改修を実施しても、将来のニーズに十分に 대응することが出来ない。	現在及び将来のニーズに応じた機能設定ができる。

■まとめ

「建替え」は「大規模改修」に比べ、イニシャルコスト※⁵が多くかかります。しかし今後、長い年月利用することを考慮すると、「大規模改修」の場合、今後も建物修繕にかかる大きな費用が見込まれることや、計画内容が制限され市民の求める機能を満足に確保できないことが考えられるため、市民会館運営協議会の意見を踏まえ、「建替え」を基本として計画することとします。

6-2 整備箇所の検討

建替えを行う場合の市民会館の建設候補地として、現在市民会館がある現在地を候補地①、市に譲渡される方向性にあるなのはな館敷地を候補地②、スポーツ施設や文化施設を一体的に活用するために近隣の土地であり、また、土地開発公社の所有地となっている新田ふれあい団地北側を候補地③と3箇所を選定し、比較検討を行いました。

候補地①：現在地

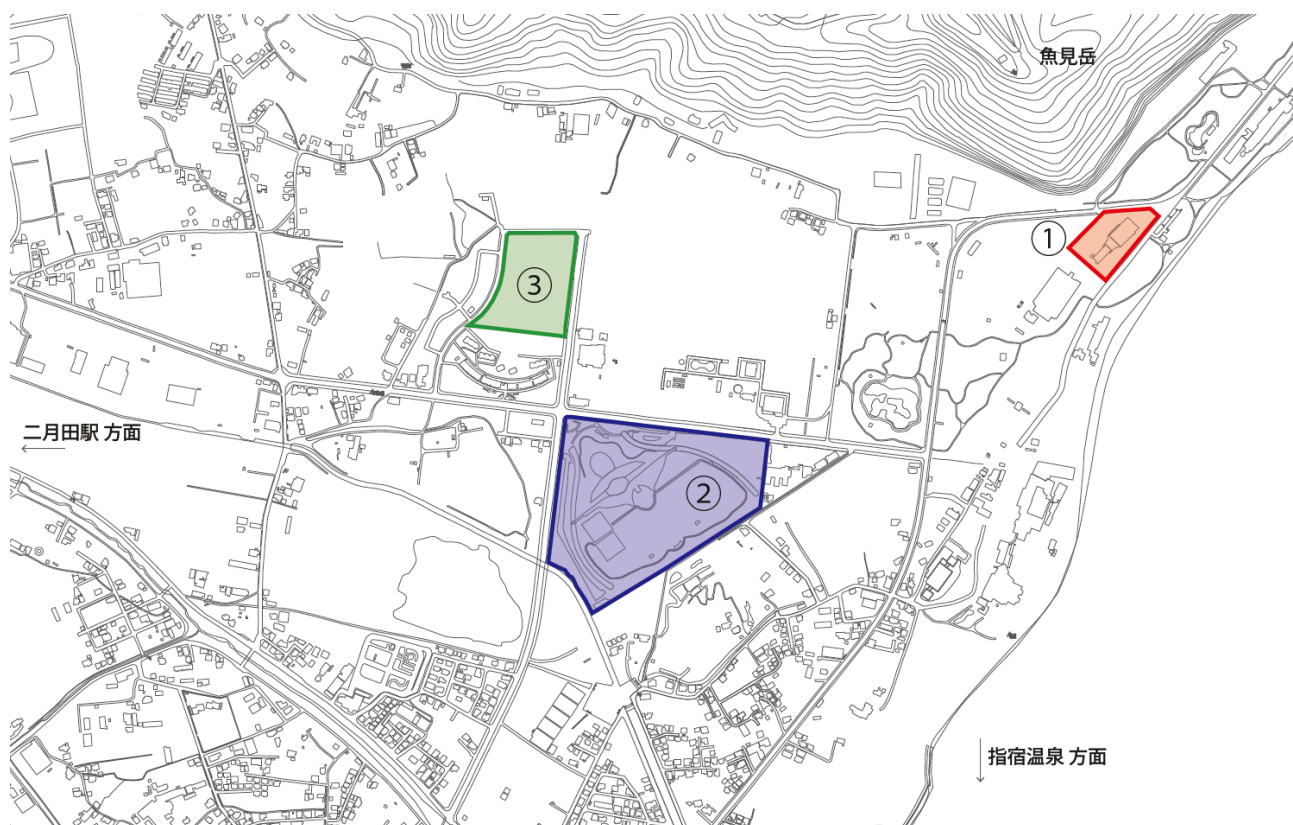
所在地	指宿市東方 12000
敷地面積	12,278 m ²
用途地域	無指定 (国立公園特別地域)

候補地②：なのはな館敷地

所在地	指宿市東方 9300-1
敷地面積	93,400 m ²
用途地域	第一種住居地域

候補地③：新田ふれあい団地北側

所在地	指宿市東方 8691-9
敷地面積	28,000 m ²
用途地域	第一種中高層住居専用地域・第二種中高層住居専用地域



◆建替え候補地の比較

	候補地① 現在地	候補地② なのはな館敷地	候補地③ 新田ふれあい団地北側
交通利便性	○	○	○
	・JR 指宿駅から車で7分	・JR 指宿駅から車で6分 ・JR 指宿駅からバスで10分	・JR 指宿駅から車で6分
敷地形状 規模	○	○	○
	・敷地の広さは十分あり、施設配置は可能	・敷地の広さは十分あり、施設配置は可能	・敷地の広さは十分あり、施設配置は可能
周辺環境への 影響	○	○	△
	・周辺に住環境が少ないため、イベント開催時なども問題ない。	・周辺に住環境が少ないため、イベント開催時なども問題ない。	・南、西側に住宅地が隣接しており、イベント開催時の影響や建物による圧迫感等が懸念される。
周辺への 波及効果	○	◎	△
	・運動公園や陸上競技場、体育館等の周辺施設と一体的なイベント計画が可能	・北側道路沿いの市街化が進んでおり、新市街地の拠点としての役割も期待できる。 ・なのはな館と連携し、充実した創作活動スペースやイベント広場を擁する施設として計画可能	・将来的に新市街地として位置づけられる場所に立地しているが、主要な幹線道路から奥まっているため視認性が悪く、新市街地の核としては存在感に欠ける立地となる。
防災拠点機能	△	○	○
	・標高2.8m ・過去豪雨時浸水記録なし ・急傾斜地崩壊危険箇所警戒区域 ・体育館等と併せて十分な規模の防災拠点が形成可能	・標高3.9m ・過去豪雨時浸水記録なし ・なのはな館や敷地内広場と併せて、十分な規模の防災拠点が形成可能	・標高3.5～4.0m ・過去豪雨時浸水記録なし ・十分な規模の防災拠点が形成可能
その他	△	○	△
	・新会館着工までに既存建物解体が必要。建替え期間中市民会館が利用できない。(約23～25ヶ月)	・なのはな館諸室(音楽室、研修室、調理実習室、絵画室、工芸室、陶芸室、管理諸室等)の利用により施設利用の相乗効果が期待できる。 ・上記諸室を市民活動室や市民会館の管理諸室として利用することで、市民会館の規模縮小によるコストダウンが図れる。	・土地取得が必要となり、土地購入費用がかかる。(3.5億円) ・多目的運動場整備の候補地の1つとなっている。

■まとめ

3箇所の建て替え候補地の比較検討内容を踏まえ、市民会館運営協議会の意見をいただき、総合的に評価が高い候補地②：なのはな館敷地を建設予定地として選定します。

7 基本構想のまとめ

■コンセプト

コンセプト1：ひとと芸術文化・健幸を結ぶ交流空間（集客から創客へ）

コンセプト2：芸術文化活動をはぐくむ創造の空間（鑑賞から創造へ）

コンセプト3：芸術文化・健幸を発信する拠点（鑑賞から発信へ）

■施設整備の手法

「建替え」は「大規模改修」に比べ、イニシャルコスト^{※5}が多くかかります。しかし、長い年月利用することを考慮すると、「大規模改修」の場合、今後も建物修繕にかかる大きな費用が見込まれることや、計画内容が制限され市民の求める機能を満足に確保できないことが考えられるため、「**建替え**」を基本として計画することとします。

■建て替え予定地

3箇所の建て替え候補地の比較検討の結果、総合的に評価が高い「**なのはな館敷地**」を建設予定地として選定します。

■施設の役割・機能・規模

市民会館には以下の機能を持たせます。

- ホール機能
- 創作支援機能
- 交流機能
- 管理運営機能

また、施設概要の検討に基づき、**客席規模は800～900席の中ホールを想定**し、各機能の具体的な内容や規模については基本設計・実施設計策定時に検討を進めていきます。

(2) 基本計画

1 建設予定地の概要

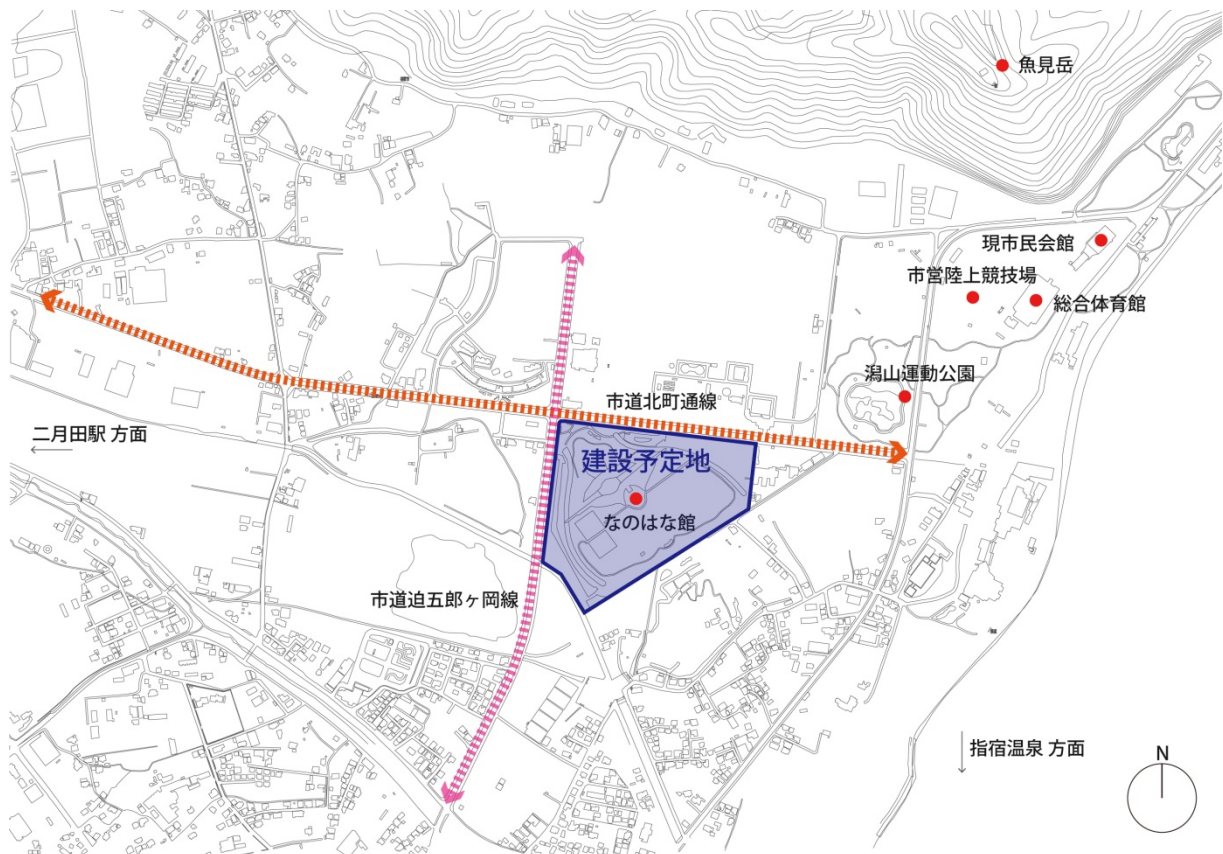
基本構想を踏まえ、新市民会館の建設敷地については、「交通利便性」、「敷地形状・規模」、「都市計画上の整合」、「周辺環境への影響」、「周辺への波及効果」、「防災拠点機能」等を勘案し、なのはな館敷地を建設予定地として計画します。

(1)敷地概要

所在地	指宿市東方 9300-1
敷地面積	93,400 m ²
用途地域	第一種住居地域
区域区分等	市街化区域
建ぺい率	60%
容積率	200%
防火地域	指定なし

(2)周辺道路

- 北側：市道北町通線（幅員 20m）
- 西側：市道迫五郎ヶ岡線（幅員 20m）

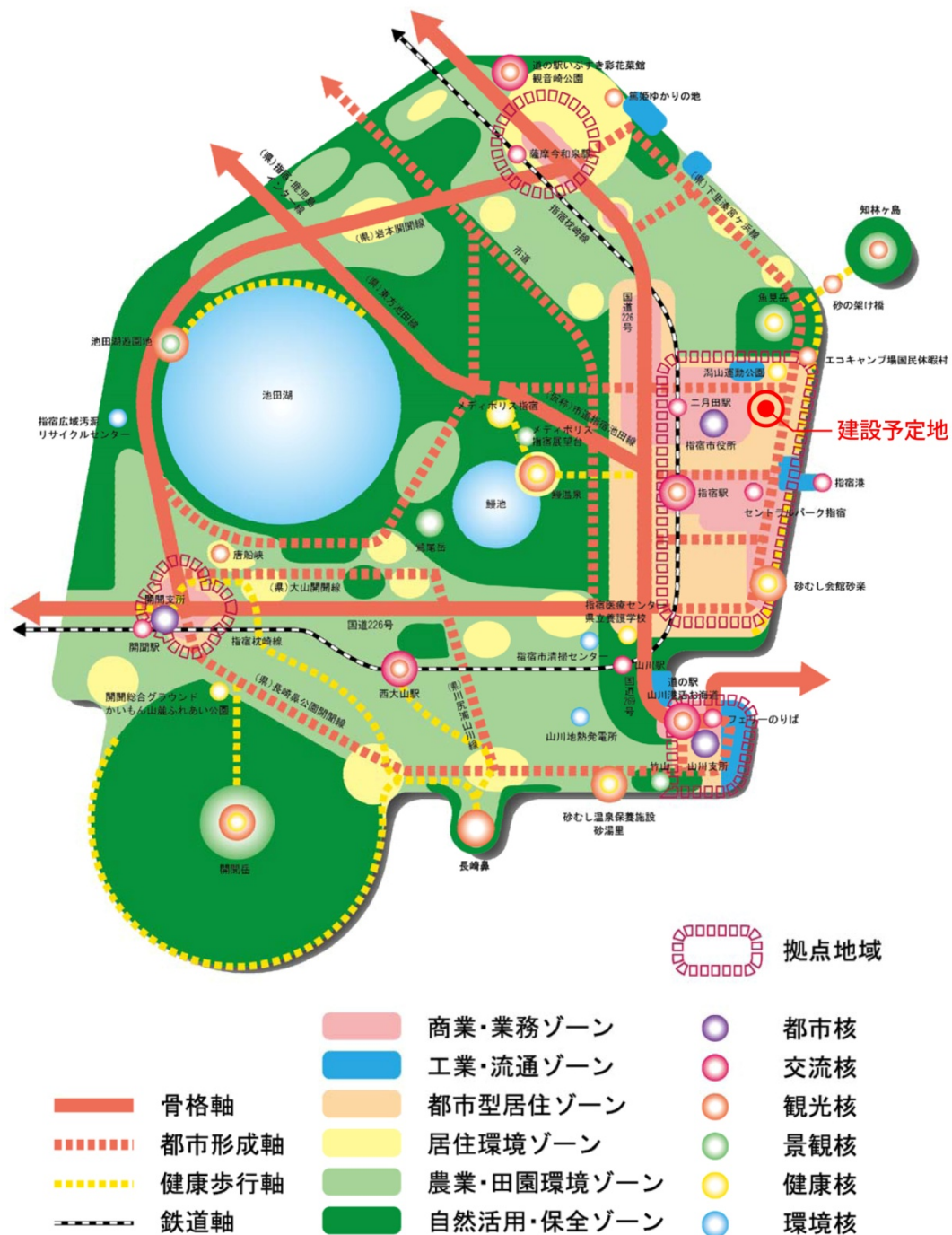


(3) 周辺環境

指宿市都市計画マスタープランでは、新田地区の潟山運動公園を「健康の核」として位置付け、部門別整備方針の中で、「健康レクリエーションゾーン」として、整備する方針が示されています。また、建設予定地の周辺は、商業・業務ゾーンや都市型居住ゾーンと位置付けられ、新たにまちの賑わいを創出するゾーンとして計画されています。

新市民会館は、この賑わい創出の核となる施設として周辺環境との関係性を十分検討し、施設を計画していく必要があります。

図 将来都市構造図



指宿市都市計画マスタープラン（2013年）より引用

2 施設整備方針の検討

基本構想に基づき、指宿市の地域活力の向上、新たな文化創造、地域経済の向上に資する芸術文化の拠点をつくるための整備方針を以下に示します。

施設整備方針1 ヒトと芸術文化・健幸を結ぶ交流空間

市民が立ち寄りやすく、気軽に様々なかたちで芸術文化とつながることができる、市民活動ラウンジ^{※6}などの交流機能を有する施設を設けるとともに、なのはな館と一体的かつ効果的な利用ができる芸術文化の交流施設をつくります。

施設整備方針2 芸術文化活動をはぐくむ創造の空間

市民の多様な芸術文化活動に対応できる創作活動室などの創作支援機能を有する施設をなのはな館と一体的に整備し、芸術文化活動をはぐくむ創造施設づくりを行います。

施設整備方針3 芸術文化・健幸を発信する拠点

市民の芸術文化活動の発表の場として使いやすいホール機能や、交流機能を有する施設をなのはな館と一体的に整備するとともに、まちの魅力として市民が誇りに思えるデザイン性を有する施設づくりを行います。

3 施設機能や規模の検討

新市民会館は、基本構想に基づく4つの機能から構成します。

機 能	規 模
ホール機能	<ul style="list-style-type: none"> ●客席数は都市の規模、現市民会館の利用状況、ニーズを考慮して800～900席を確保します。 ●中規模ホールとしても利用できるような客席計画とし、1階席のみを利用した場合には600席程度で利用できるように計画します。 ●ホワイエは十分なスペースを確保し、公演時だけでなく、日常的にもギャラリーやイベントスペースとして利用できる設えとします。 ●一部、なのはな館の利活用を検討します。 <p>【計画する諸室：ホール、楽屋、ホワイエ^{※3}、搬入口】</p>
創作支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の日常的な芸術文化活動が行える諸室を計画します。 ●リハーサル室は、市民の発表の場として利用しやすい100人程度のイベントにも利用できるよう計画します。 ●一部、なのはな館の利活用を検討します。 <p>【計画する諸室：リハーサル室、創作活動室】</p>
交流機能	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が日常的に気軽に立ち寄り時間が過ごせる共用ロビーを計画します。 ●一部、なのはな館の利活用を検討します。 <p>【計画する諸室：共用ロビー、市民活動ラウンジ^{※6}、レストラン、カフェ】</p>
管理運営機能	<ul style="list-style-type: none"> ●新市民会館を円滑にかつ安全に運営していくために、機能的・効果的な諸室の配置を行います。 ●一部、なのはな館の利活用を検討します。 <p>【計画する諸室：事務室】</p>

■各諸室の想定床面積

構成	機能	諸室名	新市民会館 (想定面積)	備考	参考:現市民会館
主ホール エリア	ホール	客席	720~810	800~900席	固定席:1120席、立見席:180席 (改修した場合、約870席)
		多目的室(兼親子室)	20	10㎡×2室	
		舞台(主舞台・側舞台)	450	舞台機能により必要設備確保のためスペースなど大きさは要検討	間口17m、奥行10m:170㎡ 脇舞台 上手45㎡、下手35㎡ 合計:250㎡
		主ホールホワイエ	350		
		観客用トイレ	185	男:大6、小10、手洗5、女:大18、手洗7、程度	
	楽屋	リハーサル室	200		
		楽屋トイレ	25		
		小楽屋(スタジオ)	40	小楽屋20㎡×2室、中楽屋35㎡×2室、 (大楽屋は中楽屋を2室使いフレキシブルに対応)	3室(計55㎡)
		中楽屋(スタジオ)	75		
		楽屋ラウンジ・ロビー	40		
		楽屋事務室	15		
		清掃員控え室	10		
		楽屋シャワー室	20		
		楽屋シャワー室	20		
	舞台技術	舞台備品庫	110		
		その他備品庫(倉庫)	20		
		楽器庫	20	グランドピアノ2台設置が多い	
		調光器盤室	15		
		アンブラスク室	15		
	客室内技術	調整室	30		
		音響盤室	20		
		フロントサイド スポットライト投光室	10		
		シーリング スポットライト投光室	10		
		フォロー スポットライト投光室	10		
		スポットライト投光室	10		
	搬入口 荷捌き	搬入ヤード	130	搬入トラック 1台 or 2台	駐車場90㎡
		搬入口・荷捌き	60		
	管理事務室	運営管理事務所	70		
		会議室	20		
		給湯	10		
		職員更衣室	15		
		事務室トイレ	20	多目的トイレ含む	
		倉庫	15		
ゴミ庫		15			
備蓄庫		15			
	清掃控室	15			
機械室	電気室	100			
	空調	250			
	その他	50	熱源機械、熱源ポンプ、など		
共有 エリア	共用施設	エントランスホール	200	共用ロビー	
		ロッカー	15		
		託児室	25		
		共用トイレ	40		
		廊下・階段・EV等	2000		
コミュニ ティエリア	付帯施設	市民活動ラウンジ	150		大会議室、中会議室、小会議室 第1和室、第2和室
		創作活動室	350	50㎡×7室 想定	
		倉庫	15		
新市民会館必要面積			5,990~6,080		
なのはな館 転用可能面積			750	なのはな館の改修に応じて、主ホールエリアの一部の利活用を検討する。	
なのはな館を 活用した場合の 新市民会館必要面積			5,240~5,330		

※赤字はなのはな館の諸室が活用できると想定される室

※上記については、近年建設された施設例を参考に記載したものであり、基本設計・実施設計で再検討します。

4 施設整備計画の検討

4-1 基本性能の整理

基本構想に基づく4つの機能に必要な基本性能について具体的に示します。必要諸室については基本設計・実施設計において詳細検討を行います。

○ホール機能

舞台施設	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動、多目的な演目に対応しやすいプロセニウム^{※4}形式を基本とします。 ・様々な演目に対応可能な舞台装置や音響照明設備を適切に計画します。 ・舞台に隣接した位置に十分な広さの楽器庫や舞台備品倉庫等を計画します。
客席施設	<ul style="list-style-type: none"> ・客席は800～900席を計画します。 ・小規模な催しにも対応出来るように、1階席のみを利用した場合は600席程度で利用できるよう客席配置を計画します。 ・観やすいホールとして、客席からの最大視距離を極力短く座席配置を考慮します。 ・聴きやすいホールとして、残響時間などを考慮します。 ・舞台に集中できるゆとりのある座席計画とします。 ・車椅子席、親子室の設置を計画します。
楽屋	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な設備を備え、防音に配慮した楽屋を不足のないように計画します。 ・利用のない時は、会議室等にも利用できるよう計画します。 ・楽屋と舞台の床高さを合わせ、行き来しやすい動線を計画します。
楽屋エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・楽屋事務所、技術スタッフ控室、楽屋ラウンジ、給湯室、トイレ、シャワー室等を適切に計画します。
ホワイエ	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者の待ち合わせや休憩場所として十分な広さのホワイエ^{※3}を計画します。 ・日常的にもギャラリーやイベントスペースとして利用できる計画とします。 ・主催者控室やトイレ、ロッカールーム等を必要に応じて適切に計画します。
搬入口	<ul style="list-style-type: none"> ・大型車両が駐車でき、雨天時でも問題なく搬入出が行える搬入出スペースを計画し、搬入口は舞台の床高さと合わせたプラットフォーム式とし、安全で効率的な搬入経路を計画します。
<ul style="list-style-type: none"> ・一部、なのはな館の利活用を検討します。 	

○創作支援機能

リハーサル室	<ul style="list-style-type: none"> ・多用途に利用できるよう平土間とし、100人程度の市民の発表の場にも利用できるよう計画します。 ・一部、なのはな館の利活用も検討します。
練習室	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の創造活動や日常の練習活動に利用できる、十分な遮音性能を備えた練習室を計画します。
創作活動室	<ul style="list-style-type: none"> ・一部、なのはな館の利活用を検討します。

○交流機能

共用ロビー	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が日常的に気軽に立ち寄り時間が過ごせる開放的なロビーを計画します。 ・展示スペースとしての利用や、情報コーナー等の設置を計画します。
市民活動ラウンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が活発に創造活動を行えるよう配置と動線を計画します。
レストラン・カフェ	<ul style="list-style-type: none"> ・なのはな館の利活用を検討します。

○管理運営機能

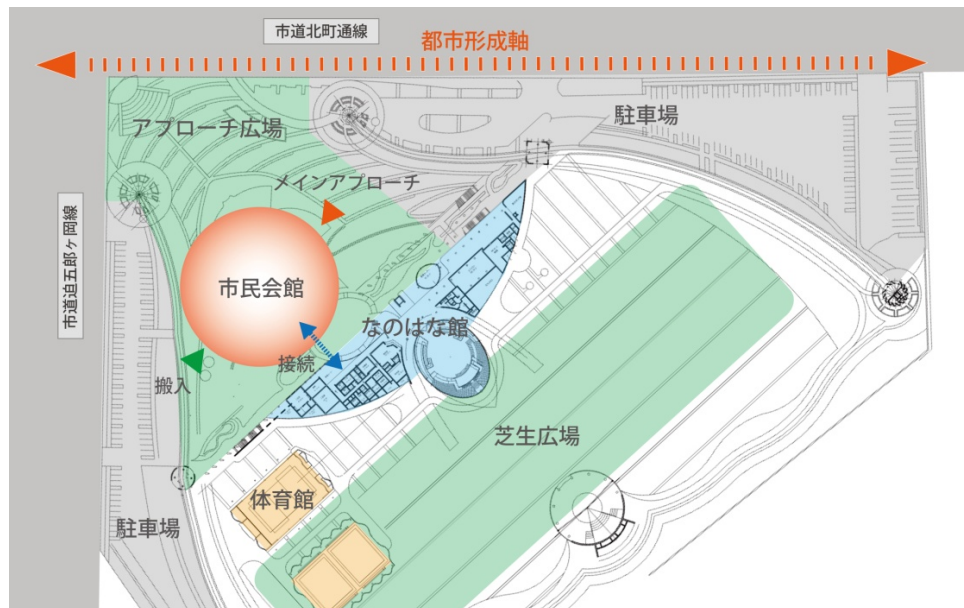
管理事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・各機能を一体的かつ機能的に管理でき、利用者にとっても分かりやすい配置と動線を計画します。 ・利用者受付カウンターを事務室に付随して計画します。 ・一部、なのはな館の利活用を検討します。
-------	---

4-2 ゾーニング・配置計画

新市民会館のゾーニング・配置計画は、なのはな館利活用構想改訂版で示されたゾーニングを参考の上、主に ①前面道路との関係性、②なのはな館との関係性、③搬入動線、④駐車場からのアプローチ について考慮し、4つのパターンに分類して比較します。

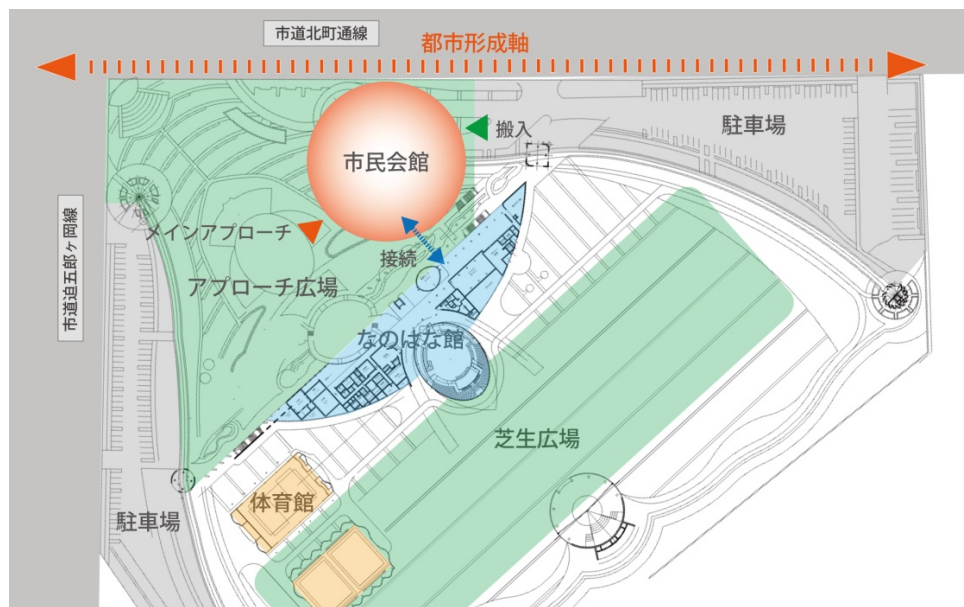
A. 北側配置案1

- 北側道路に面して十分な広さの広場が確保できる。
- 広場が市民会館に隣接しており、イベント時の一体感を創出しやすい。
- 利用者動線と搬入動線を明確に分離することができる。
- 北側道路から奥まった位置となり、存在感が若干弱い。



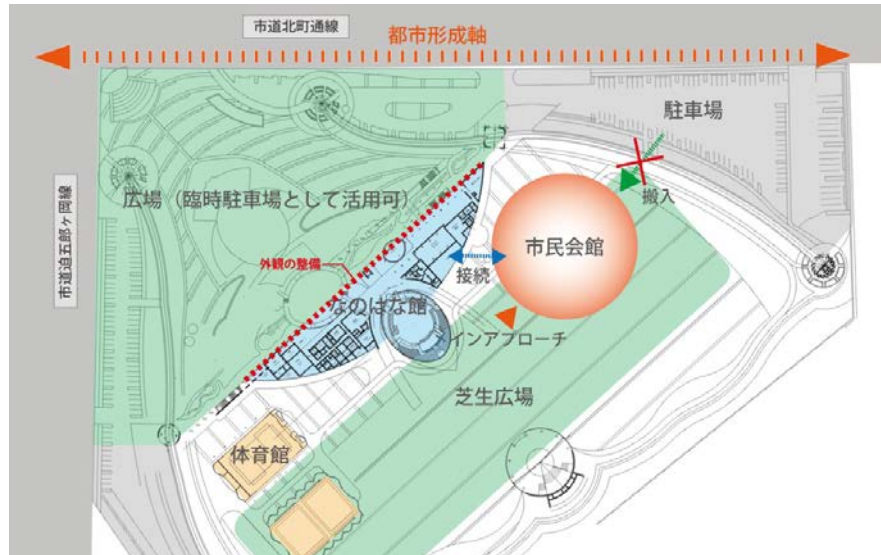
B. 北側配置案2

- 広場が市民会館、なのはな館に囲まれており、イベント時の一体感を創出することができる。
- 北側道路に近接できることで存在感を示すことができるが、その反面、圧迫感がある。
- 北側道路に搬入口が面することで施設としての顔づくりや利用者動線との交錯が懸念される。



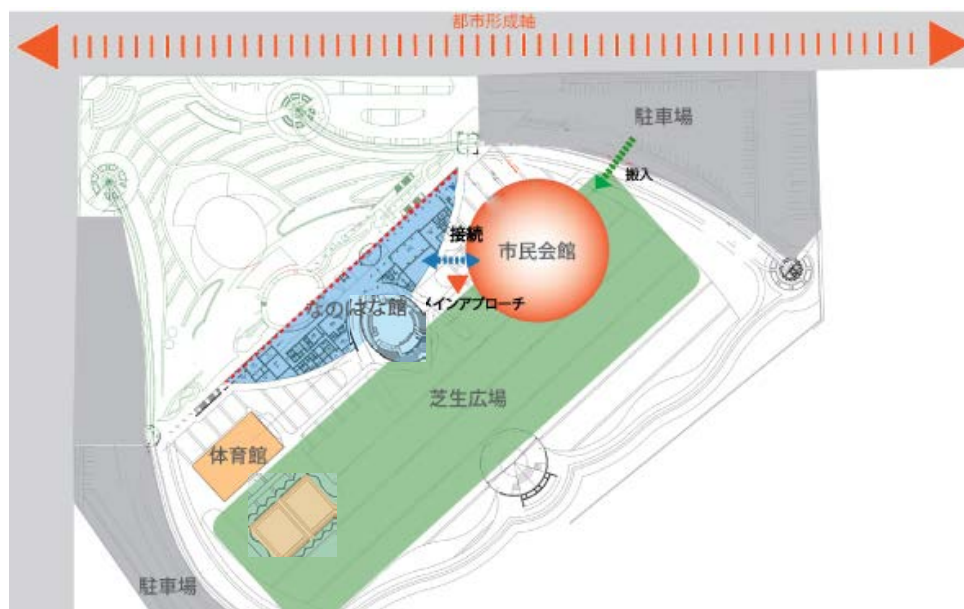
C. 南側配置案

- 敷地北側に大規模な広場が確保でき、イベント時の臨時駐車場等にも活用できる。
- 北側道路からは施設がなのはな館に隠れるかたちとなり、存在感が弱くなる。
- 搬入経路が既存回廊と干渉するため、既存回廊の改修が必要となる。
- 芝生広場の一部を転用することになるが、現状の利用状況への影響は少ない。



D案：南側芝生広場配置変更案

- なのはな館北側建物の解体されない場合の配置案である。
- 会議室・視聴覚室等の既存の施設を利用することで建築コストの削減が期待できる。
- 芝生広場の一部を転用することになるが、現状の利用状況への影響は少ない。
- なのはな館本館と接続した場合、一体の施設として活用できる。



■まとめ

老朽化した指宿市民会館を芸術文化活動の拠点として建替えるため、ゾーニング・配置計画に示した配置計画の4案の中で、実施可能であるとともに、なのはな館施設の利活用が可能な、D案を市民会館整備基本構想・基本計画の配置案とします。なお、具体的な内容については、基本設計・実施設計において再度検討を行います。

4-3 平面計画

新市民会館の平面計画は、主に、①各機能の関係性、②動線計画、③前面道路との関係性、④なのはな館との関係性に視点を置いて、基本設計・実施設計において検討していきます。

4-4 設備計画

設備計画に関する基本的な考え方として、以下の方針により計画します。詳細な設備仕様については基本設計・実施設計において検討を行います。

(1)省エネルギーに配慮した計画

- ゾーン毎の居住域空調、在室者数による換気量制御、中間期の外気冷房等、年間を通して無駄なく効率的に運用できる空調設備を計画します。
- 長寿命で節電効果の高い LED 照明の採用や、昼光センサーや初期照度補正等による昼光制御、トイレや階段等への人感センサー設置により合理的な照明計画を行います。

(2)自然エネルギーを活用した計画

自然採光、自然換気、地中熱利用、雨水利用等、自然のエネルギーの活用を検討します。

(3)高機能で使いやすい舞台設備計画

舞台設備は最先端技術を取り入れながら機能性、静粛性、ノイズレス化等にも配慮したシステムを構築するとともに、プロからアマチュア、初心者の方まで安全・容易に操作できるよう計画します。

(4)災害時に配慮した計画

- 災害時に必要な電気、給水、排水等を最大限確保し、避難生活を継続可能にします。
- 電気室、発電機室は浸水対策を十分行い、電源確保が可能なように計画します。

5 事業スケジュールの検討

現時点で想定される整備スケジュールは以下のとおりとなります。

	初年度												2年度												3年度																		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	~	1	2	3														
設計者選定	■																																										
基本設計						■																																					
実施設計										■																																	
申請												■																															
発注													■																														
工事 市民会館新築																										■												■					

※工期は想定

6 概算事業費の算定

- 新市民会館の規模は、なのはな館を活用した場合、延べ面積を 5,250 m²と想定します。
- 建設費は、近年整備された類似施設における建設単価から 50～60 万円/m²を想定します。
- 新市民会館の概算建設工事費は、上記の想定延べ床面積および想定単価より、27 億～32 億【5,250 m² (想定延べ面積) × 50～60 万円/m² (想定建設単価)】と想定します。
- 本体建設工事費の他に、外構工事費や備品費が必要となります。
- 施設の計画に際してはライフサイクルコスト^{※7}削減に配慮した取り組みを検討していきます。

※なお、上記の想定延べ面積は、施設の諸室想定面積に基づいています。諸室に関する具体的な検討は、基本設計・実施設計で行います。

※概算建設費は想定延べ面積を基に算出した想定額であり、今後のなのはな館の活用の検討や設計、物価動向等により変動する可能性があります。

7 管理運営計画の概要

7-1 管理・運営組織の考え方

(1)管理運営主体の考え方

現在、公の施設の管理運営方法として、市が直接運営を行う「直営」と特定の事業者を指定して行う「指定管理者による運営」があります。

「指定管理者制度」とは

これまで地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO 法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることができる（行政処分であり委託ではない）制度で、以下のようなメリットが考えられます。

- ①利用時間の延長など施設運営面でのサービス向上による利用者の利便性の向上
- ②管理運営経費の削減による、施設を所有する地方公共団体の負担の軽減

(2)管理運営業務の内容

管理運営に関する業務として、大きく以下の4つの業務に分けることができます。

- ①貸館事業 : ホール・各諸室の貸館の管理
- ②自主事業 : 各種事業の企画・制作・実施
- ③舞台技術管理 : 舞台機構・照明・音響の管理
- ④ビルメンテナンス : 施設のメンテナンス、清掃、維持管理

7-2 管理運営計画の考え方

市民会館の整備は、指宿市の地域活力の向上、新たな文化創造、地域経済の向上に資する芸術文化の拠点をつくることを目的として実施します。管理運営計画の検討では、いかに運営するか
に重点を置くことで、市民会館に求められる機能を充足していく必要があります。

(1)管理運営方針

①専門的知識と経験値を備えた人材の配置と次代を担う人材の育成

市民会館の運営には、機器の操作や舞台運営等、その管理運営には専門的知識が必要であるとともに、舞台運営に関する豊富な経験を有する人材の配置が求められています。また、よりよい運営を行うために人材の育成を検討します。

②魅力的な事業の企画、活動の効果的な情報発信

市民会館が市民にとって利用しやすく、身近な施設になるためには、魅力的な事業の企画立案が必要になります。合わせて、効果的な情報発信を行います。

③利用者が使いやすく分かりやすい、なのはな館との一体的な管理運営

市民が身近な施設として利用するために、ふれあいプラザなのはな館と一体的な管理運営を検討します。

(2)管理運営組織

市民会館には更なるサービスの向上と充実が望まれています。このため、建替え後の市民会館の管理運営に関しても、指定管理者制度等の民間活力を有効に活用できる運営形態を検討します。

(3)管理運営システム

市民会館の管理運営方針を実現するために、以下の点に配慮した管理運営システムを構築します。

①利用者の利便性に配慮した利用申込方法や利用に関するルールづくり

②利用者が使いやすい利用料金の設定

③開館時間の設定

(3) 参考資料

参考資料

○市民会館の修繕履歴

平成8年度～平成27年度の修繕履歴においては、空調設備や舞台機構のメンテナンス、防水の修繕等が多く発生する傾向にありました。

下記の18年間における修繕費用の合計は245,226,777円となっています。

平成27年9月18日 現在			
年度	修理箇所等名称	金額(税込)	備考
8	大ホール空調改修工事	86,520,000	
9	音響設備改修工事	73,250,000	
10	外壁防水塗装工事 [大ホール棟:20,790,000円、管理棟:20,475,000円]	41,265,000	
20	自動火災報知機感知器取替修繕	435,645	
	トイレ改修工事	3,045,000	
21	カーテン取替	136,500	
	ブラインド取替	157,500	
	自動火災報知設備取替	409,500	
	排煙窓改修工事	2,887,500	
	管理棟及びホール防水改修工事	3,300,000	
	管理棟及びホール防水改修工事	4,995,000	
22	舞台照明ユニット基盤音響パワーアンプ設備修繕	630,000	
23	音響機器クリアカム修繕	323,925	
	舞台照明設備ユニット基盤及び音響機器取替修繕	1,449,000	
	安定器取替修繕	1,879,500	
	受変電設備トラス入替工事	4,200,000	
	舞台吊物機構ワイヤーロープ等取替工事	4,533,900	
24	ピロティ等改修工事	1,134,000	
	吸収温水機冷温水ポンプ修繕	266,700	
	吸収温水機冷温水ポンプ修繕	266,700	
	大ホール空調機中央監視装置修繕	268,800	
	非常照明用バッテリー取替	113,400	
	音響調整卓分解整備	157,720	
	空調設備修繕	728,857	
	吸収温水機分解整備	2,580,900	
	漏水修繕	763,350	
	機械室ポンプ取替修繕	267,750	
	吸収温水機冷温水ポンプ修繕	266,700	
25	吸収温水機冷温水ポンプ修繕	266,700	
	冷温水配管設備修繕	3,518,000	
	楽屋空調設備入替工事	199,500	
	管理棟非常用照明バッテリー交換	164,850	
	管理棟流し台給水管盛替修繕	892,500	
	舞台天井反射板1変角装置修繕	997,500	
26	ピンスポットライト用電球取替修繕	164,160	
	舞台裏爆裂等改修	1,112,400	
27	ピンスポットライト用電球取替修繕	183,600	
	ホール系統空調機修繕	1,494,720	
総計		245,226,777	

○平成 26 年度 ホール使用 利用別一覧

☆ 興行(歌謡ショー・公演)

使用月日	演目	人数
4/20	春のおどり	800
8/31	笹みどり 歌謡ショー	1,500
9/14	TAO太鼓公演	1,104
11/21	藤原浩 歌謡ショー	500
12/13	定期演奏会	450
12/18	ピアノ発表会	200
12/20	ダンス発表会	600
2/15	日舞公演	1,100
3/1	いろは座公演	1,000

☆ イベント(行政や教育機関で行われる行事等)

式典

4/30	辞令交付式	300
1/4	成人式	500
1/6	安全祈願祭	300

スポーツ式典

5/17	トライアスロン大会 開会式	550
11/28	全九州中学校駅伝 開会式	500
11/29	全九州中学校駅伝 閉会式	500
1/10	ランニング教室	150

音楽・文化・芸能

5/11	芸能の祭典	500
6/22	定期演奏会	150
7/4	職員決起大会	400
7/6	合唱コンクール	700
8/12	定期演奏会	450
8/15	上映会	300
8/17	定期演奏会	120
10/26	お遊戯会	335
11/12	指宿市小中高音楽発表会	600
11/16	指宿市文化祭	615
11/23	ピアノ発表会	40
11/30	母と子のコンサート	450
12/23	定期演奏会	400
1/21	南薩地区高等学校文化祭	1,000
3/8	スプリングコンサート	400
3/15	ピアノ発表会	300
3/22	和太鼓公演	400

☆ コンベンション(講演会等の演説・討論等の大会)

4/5	演説会	1,100
4/11	公開討論会	800
4/20	決起集会	300
4/23	個人演説会	1,000
9/2	安全運転管理者等 法定講習会	150
9/5	南薩地区自治公民館経営研究会	295
9/7	救急医療市民講座	58
9/21	健康フェスタ	130
11/13	年末調整説明会	200
12/9	決起大会	1,000
3/27	県政報告	500

○平成 25 年度 ホール使用 利用別一覧

☆ 興行(歌謡ショー・公演)

使用月日	演目	人数
4/14	松本裕樹コンサート	200
5/26	水木大介歌謡ショー	600
9/7	TAO太鼓公演	1,120
9/30	オペラコンサート	650
12/15	いぶすき音楽祭	300
12/23	ダンス公演	600
2/1	定期演奏会	1,000
2/9	いろは座公演	1,100
3/2	太鼓公演	900

☆ イベント(行政や教育機関で行われる行事等)

式典

4/25	総務課 交付式	600
1/4	成人式	600
1/7	安全祈願祭	300

スポーツ式典

11/29	全九州中学校駅伝 開会式	600
11/30	全九州中学校駅伝 閉会式	600
1/11	菜の花マラソン 開会式	500
1/12	菜の花マラソン 閉会式	500

音楽・文化・芸能

5/12	芸能の祭典	400
6/15	ピアノ発表会	25
6/23	定期演奏会	300
7/7	合唱コンクール	800
8/11	定期演奏会	200
8/18	映画	200
8/25	定期演奏会	220
10/27	お遊戯会	350
11/3	ピアノ発表会	100
11/10	指宿市文化祭	500
11/22	指宿市小中高音楽発表会	1,260
11/23	沖縄・鹿児島文化交流祭	480
12/8	ピアノ発表会	150
12/22	定期演奏会	220
3/9	スプリングコンサート	100
3/16	ピアノ発表会	100
3/23	ピアノ発表会	100

☆ コンベンション(講演会等の演説・討論等の大会)

5/27	第20回 総代会	20
5/28	第20回 総代会	300
6/7	第39回鹿児島ブロック大会in指宿	65
6/8	第39回鹿児島ブロック大会in指宿	600
7/10	個人演説会	790
9/3	法定講習会	500
9/8	指宿の海岸保全について考える市民の集い	500
9/26	葉っぱビジネス講演会	500
10/19	パールレディ文化講演会	1,200
11/14	年末調整説明会	200
12/1	鹿児島県PTA活動研究委嘱公開	500
1/22	公開討論会	300
1/23	安全研究大会	500
1/30	決起総大会	1,200
3/5	ブロック報告法話会(講演会)	1,100

○市民アンケート

平成 27 年に、市文化協会所属団体、市内学校、市民会館利用団体へ市民会館整備に関するアンケートを実施しました。

市民会館利用者アンケート調査結果

配布団体数 67団体、回答団体数38団体

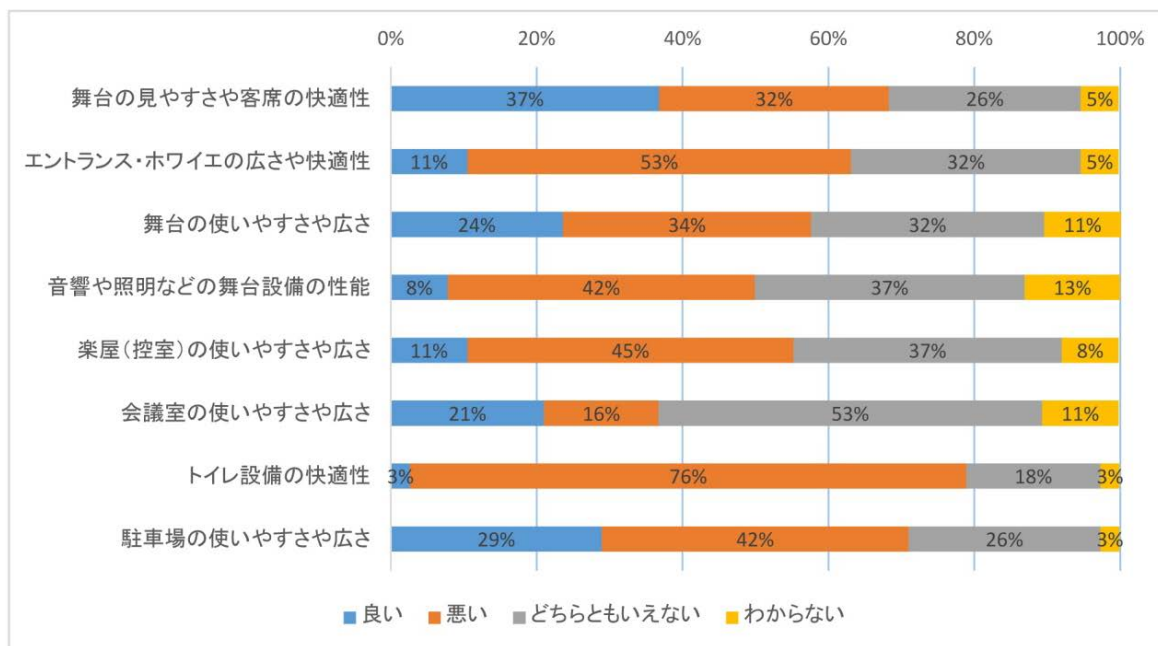
【回答率 56%】

現在指宿市では、時代のニーズに合った指宿市にふさわしい市民会館を整備するため、市民会館整備基本構想・基本計画策定に向けて検討を進めております。現状や課題等を総合的に調査・検討し、「大規模改修」又は「建替え」のどちらかについての方向性を決定したいと考えております。

検討に際しての貴重な資料として皆様の率直な意見を伺えればと思いますので、誠に恐れいりますが以下のアンケートへのご協力をお願いいたします。

1 「現在の市民会館」についてお伺いします。

市民会館の施設や舞台設備などについておたずねします。[]内に良いと思われる場合には○印を、悪いと思われる場合には×印を、どちらともいえない場合には△印をつけてください。わからない場合は空欄のままです。

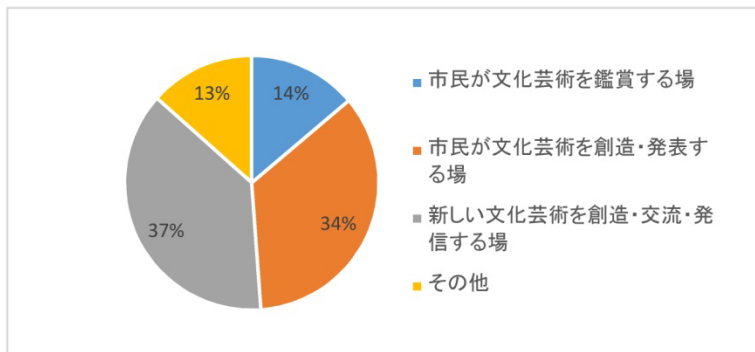


ご意見

- ・ 客席の前方の通路(舞台に向かって右側)に段差があり、つまづきます。危ないです。
- ・ 鏡付の大きい練習場兼楽屋をぜひつくって欲しいものです。30人くらい鏡の前で踊れるぐらいの大きいホールです。
- ・ エントランスで舞台を映し出すテレビ設置は好評です。
- ・ 駐車場について、隣接施設の利用者が占領することがある。ホールを利用する場合はそれなりの駐車スペースが必要であり、駐車スペースを分けて欲しい。
- ・ 出演する前に待機する場所は、もう少し広さ長さがあると良いと思います。

2 市では市民会館を「大規模改修」又は「建替え」によって刷新した新たな施設にしたいと考えております。「新たな市民会館」についてお伺いします。該当する番号に○をつけてください。

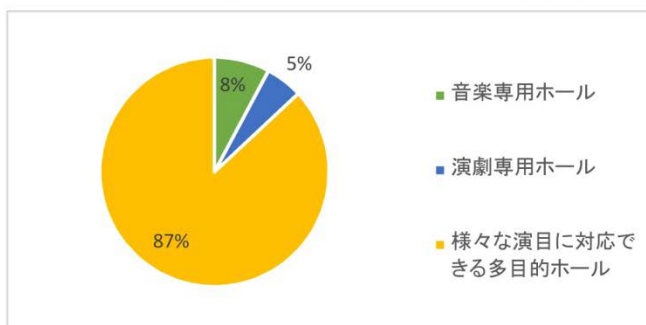
①市民会館に望まれる特色や役割は何ですか。(1つだけ)



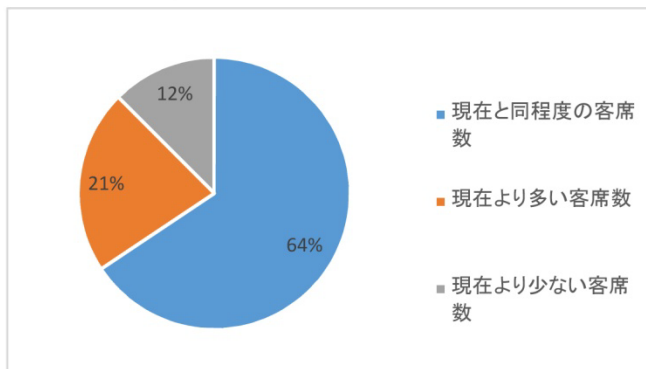
ご意見

- ・ある時は発表し、ある時は鑑賞する場だろうと思います。
- ・役割は多岐に渡ると思う。1～3番は全てですし、もう1点、新しい若しくは他の都市・地域の文化芸術を鑑賞する場、そして交流の場にもなって欲しいです。

②メインホールとして望ましいと思うタイプはどのようなものですか。(1つだけ)



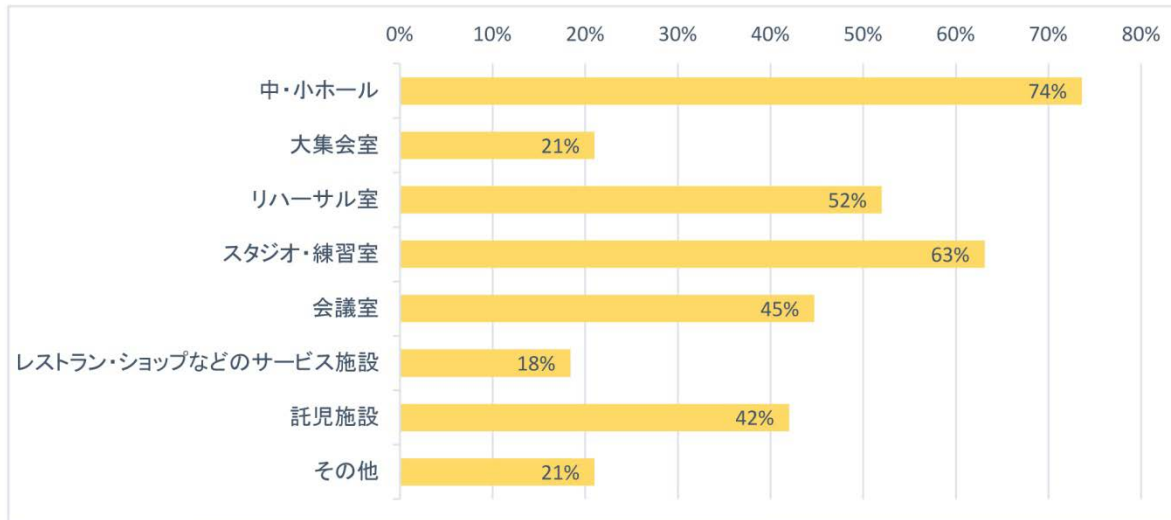
③メインホールの規模はどの程度が必要だと思えますか。(1つだけ)



・現在より多い客席数の具体的な規模として
1、500席が4名、2、000席が2名であった。

・現在より少ない客席数の具体的な規模として
1、000席が2名、800席が3名であった。

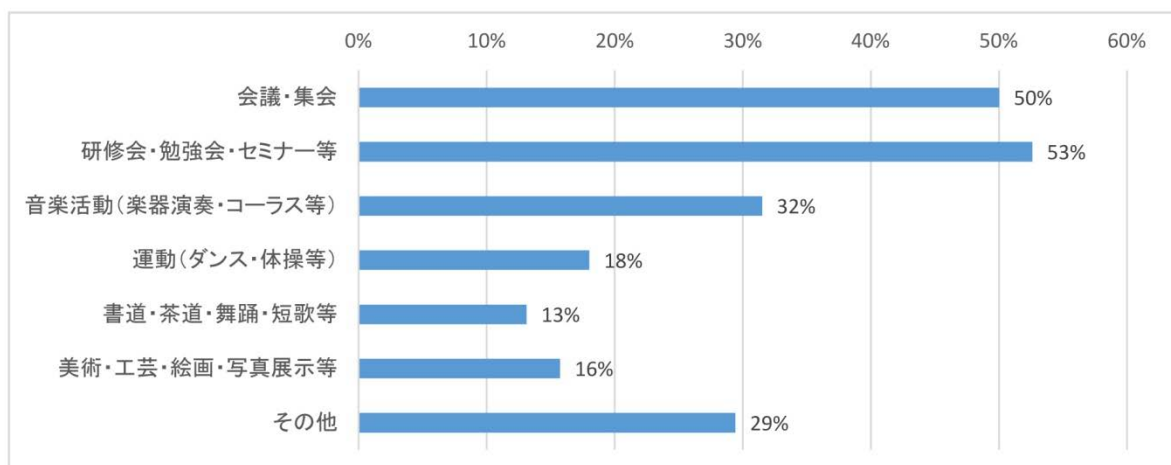
④メインホール以外で、市民会館にはどのような施設を設置・充実してほしいですか。(複数回答可)



ご意見

- ・ 市内には鏡付の練習場が1箇所もありません。鹿児島市の市民文化ホールの様な練習場が欲しいです。
- ・ 太鼓公演時の着替えと食事。
- ・ できれば少し小さめのホール(ピアノを置いた)がもうひとつあるととても良いと思います。鏡や手摺付の練習室。ここにピアノがあるとバレエ・日本舞踊など練習が出来ます。
- ・ 魅力ある上質な演目があれば、足の便を良くする事で観光都市指宿の存在感のあるホールとしてたくさんの方が訪れ交流の場となるのではないのでしょうか。どう宣伝するかが課題です。避難所としての機能も備えられたら良いですね。スタインウェイフルコンサートピアノ。
- ・ 企画展示ホール: 創作作品の展示・販売など。可動式パネルによる分割。場所に応じたスポットライトの使用(美術館的ホール)。大集会室は、緊急避難所にもなるような対策込みで。
- ・ 舞台演出が幅広く出来る様に、プロジェクター等の機材も揃えて欲しいです。
- ・ 親子観覧室。
- ・ 小さくても楽器の練習室があれば場所を探さなくて済みます。公民館などでは、音が気になります。

⑤会議室は主にどのような時に利用しますか。また、その活動は何人ぐらいですか。(複数回答可)



ご意見

- ・現在の会議室は運動・ダンス等には使えませんね。10人～15人ぐらいでも音楽をかけて練習できると良いと思います。
- ・少人数でも利用でき隣室や廊下の物音が気にならない落ち着いた空間であって欲しい。場合によっては、多目的に使えるようにしたら良いと思います。
- ・2面に鏡のあるレッスン場があると良いと思います。
- ・楽屋室を広く、大きな鏡(姿見)がほしい。
- ・平土間用の舞台鑑賞

3 「大規模改修」又は「建替え」について、ご意見、ご要望をご自由にご記入ください。

- ・鹿児島市に市民文化ホール、霧島市にみやまコンセル、指宿市に〇〇と言われるよう、将来も文化の起点となるホールを作っていただきたい。
- ・現在の市民会館も素晴らしい建物であると思いますが、やはり老朽化は否めません。指宿市が港を整備し、国際都市として飛躍するためにも21世紀から未来に向かう建物であってほしいと願います。市民会館のリニューアルは待ち望んでいました。世界に誇れる風光明媚な指宿で本物の自然と本物の舞台芸術の出会いの場となりましたら、日本中・世界からも注目され、観光客の増員に貢献できるのでは。そのため、いつ立ち寄っても何かある(絵画・映画等)、くつろげる、案内人がいる(劇場監督が必要)、デザイナーや建築家もより良い方を選んで欲しいです。
- ・電気もつけなくても少しでも明るいつくりにして欲しい。あまり凝ったレイアウトにせず、シンプルでどこに何があるのか分かるようなつくりにして欲しい。
- ・現在はホールと会議室が別棟になっているので、一体型として欲しい。ホールは反響板の側板を設置して欲しい。
- ・指宿の文化レベル向上のためにも建替えを強く要望します。現在のステージのつくりが、とても使用しにくい構造になっています。楽器搬出入口も両方に欲しいです。舞台袖も狭すぎます。音響反射板がサイドにもないとホールとしての価値は下がります。座席もせまいゆとりがあるといいです。ホール舞台袖に入る通路も上手、下手にあると利用しやすいと思います。録音などもできるよう音響設備も整えてください。
- ・イベントで入場券のいる時、外で長時間待たされます。中に入って番号札等を貰い待っている場所があると良いと思います(エントランスがもう少し広い方がよい)。洋式トイレを希望します。シンプルで機能的な施設を。
- ・大変古くなっているので建替えて、ロビーやトイレ等明るく清潔感のある建物にして欲しいです。
- ・今の市民会館は余り親しみが持てない。いつ行ってもガラとしている。要因としては、立地的な問題が大きいと思う。街の中心部に近く、市民が足を運びやすいところに建替えるべきだと思う。その際は、バリアフリー、防災機能の組み入れが必須と思います。
- ・舞台への入口と出口を設置、車イスのまま利用が出来るように、控室の廊下を1.5倍ぐらいにして欲しい。市外の太鼓チームとの交流の場としてのイベントの時に狭くて利用できないので改善して欲しい。高さも低くて「タオ」の公演時、思うような舞台組立てが出来ない。
- ・舞台裏がわからないのですが、ある程度の広さの練習室を備え、オーケストラの人数分程度の楽屋のあるホールであれば良いと思います。せっかくお金を掛けるなら数十年先までしっかり使えるホールにぜひしてください。
- ・中・小ホールを作って欲しい。市内の子どもからシニアまでのレッスンをしているのですが、大ホールは個人教室の発表会には広すぎるし料金的にも辛い。
- ・予算が立つなら建替えを希望します。市民が自主活動の発表の場として使用できる様な、中、小ホールがあれば有り難いです。
- ・改修と建替え、いずれにしても市民が気軽に使えるようになれば良いと思います。
- ・会議室は、それぞれ独立した防音性の高い個室にしてください。
- ・改修でも建替えでも、舞台設備や音響などが良くなって、コンサートなども増えたら、高齢の方々も近くで楽しめる場所があつていいと思います。
- ・とにかく見てくれだけでなく、使い勝手の良いものを作って欲しい。プロの舞台などを使用する人の意見又はアドバイザーを入れて進めて欲しい。
- ・環境的には静かでとても良いのですが、潮風の当たりも強く高潮等も心配。また、隣に体育館があるせいか、度々駐車場が無くて不便です。別地への”建替え”を望みます。会議室の備品も古いので一新されることを期待します。
- ・市の目玉になるような、ホール建築を期待しています。

○類似人口規模自治体の近年のホール事例

施設名称	建設地	建設地人口(人)	竣工年	客席数(席)	備考
吉岐文化ホール	長崎県吉岐市	28,143	1994	1,025	中ホールを設置
島根県芸術文化センター グラントワ	島根県益田市	50,015	2005	1,500	400席の小ホールを設置
茅野市民館	長野県茅野市	55,450	2005	780	300席の小ホールを設置
対馬市交流センター	長崎県対馬市	32,624	2006	750	
三原市芸術文化センター ポポロ	広島県三原市	44,104	2007	1,209	
日田市民文化会館 パトリア日田	大分県日田市	68,617	2007	1,008	350席の小ホールを設置
大船渡市民文化会館 リアスホール	岩手県大船渡市	38,521	2008	1,100	240席の小ホールを設置
下呂交流会館	岐阜県下呂市	34,516	2009	805	
三次市民ホールきりり	広島県三次市	54,758	2014	1,006	日常的には1F604席を利用 150席小ホールを設置
勝浦市芸術文化センター	千葉県勝浦市	19,235	2014	800	
名寄市民文化センター EN-RAYホール	北海道名寄市	30,591	2015	647	

○用語注釈

- 【※1 ランニングコスト】・・・P2、P19
設備や建物を維持するために必要となるコスト
- 【※2 ユニバーサルデザイン】・・・P15
老若男女といった差異や障害・能力を問わずに利用することができる施設の設計
- 【※3 ホワイエ】・・・P16、P17、P27、P29
エントランスから客席までの間に設けられた、待ち合わせや休憩に利用される空間
- 【※4 プロセニウム】・・・P17、P29
舞台と客席を区画する額縁状の構造物
- 【※5 イニシャルコスト】・・・P19、P22
稼働するまでの間に必要となる費用
- 【※6 ラウンジ】・・・P26、P27
休憩・談話ができるようにしたスペース
- 【※7 ライフサイクルコスト】・・・P35
計画・設計・施工から、その建物の維持管理、最終的な解体・廃棄までに要する費用の総額